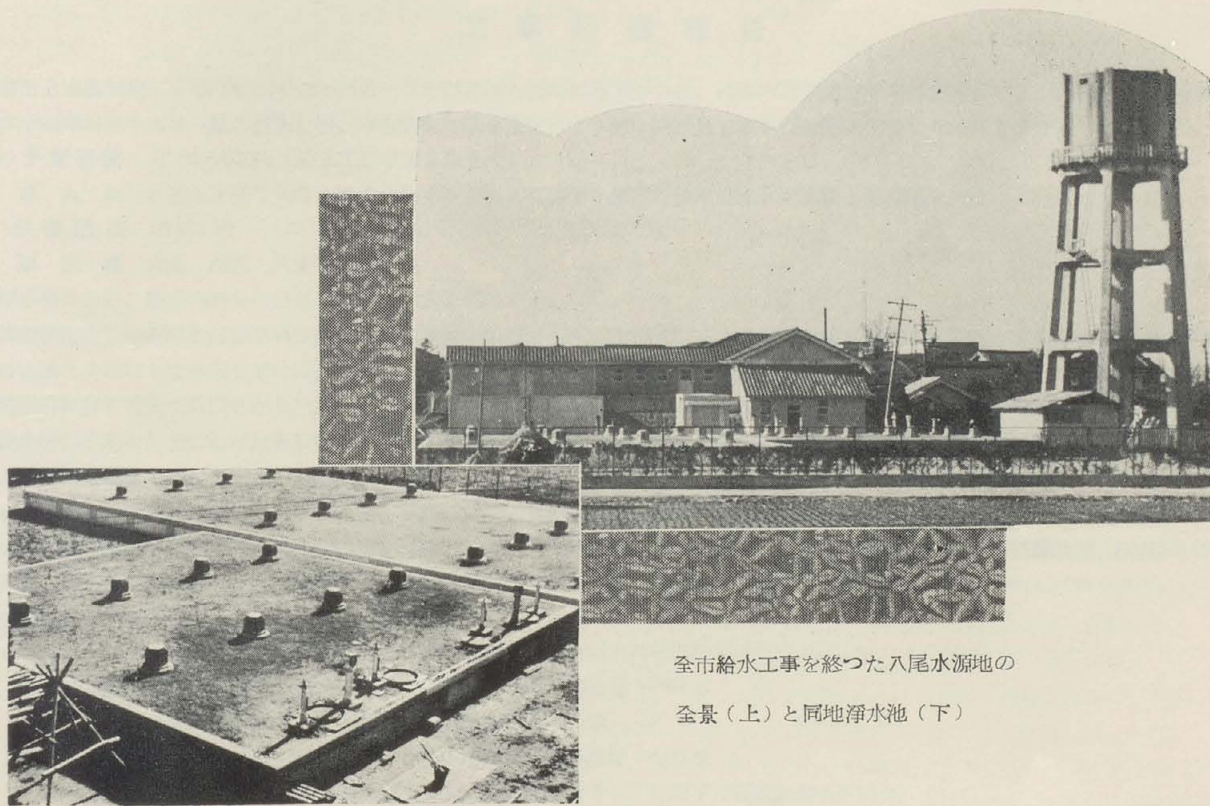


第十一編 水道

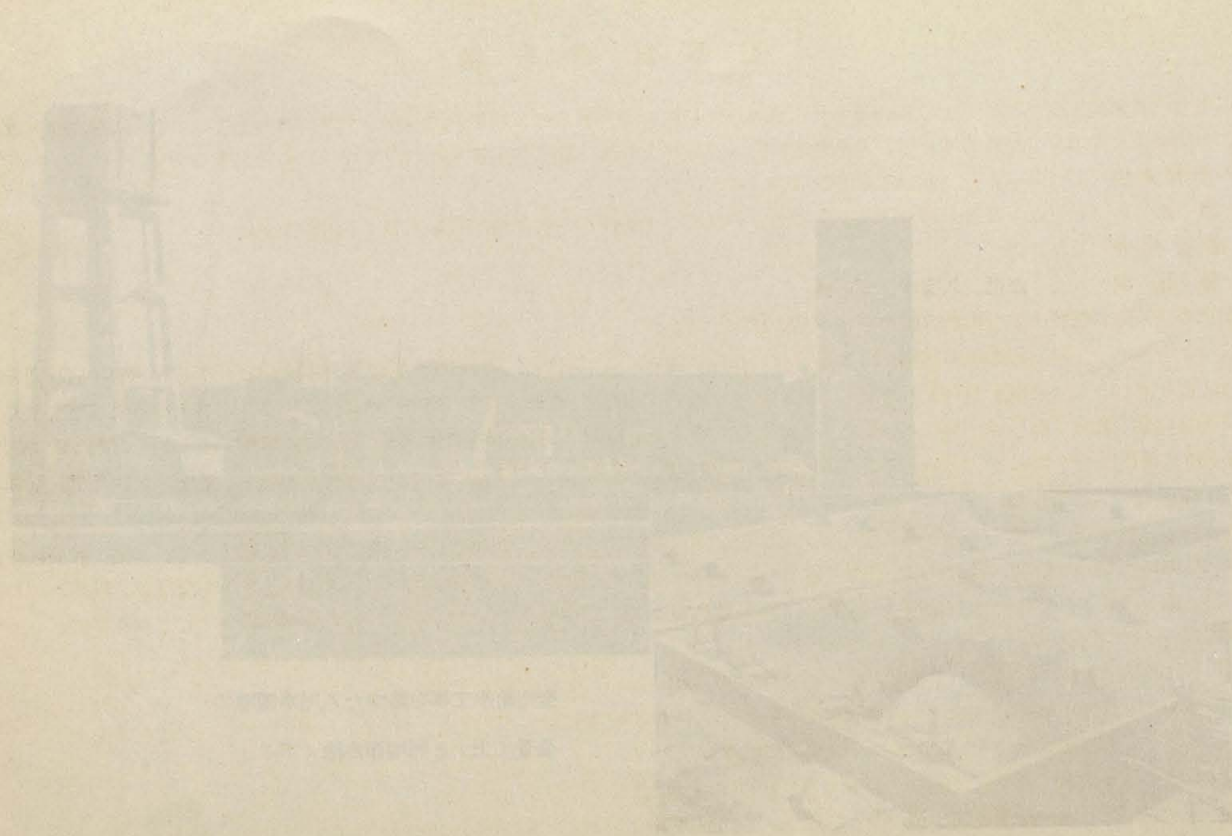
第十一編

水

叢



全市給水工事を終つた八尾水源地の
全景（上）と同地浄水池（下）



整
と
給
配
括

当
尾
も
ぎ

地
を
配
木
太

西
久

工 事 経 過 報 告

本市上水道拡張工事は昭和二十三年四月一日市制実施と同時に発案せられ、同年六月全市給水を目標として、これが基本調査に着手、翌二十四年三月十二日一應の成案を得、本市議会に於て左記により第一回拡張工事執行の議決を得たのであります。

この予算総額 47,907,000円（給水工事予算を含まず）

給水人口 6万人1日1人当り平均水量150立これに要する源水の増加量は府営水道より供給を受ける。

配水管延長 21438米

拡張区域 大正、西郡、久宝寺、全市域

浄水場は八尾、龍華両所を担当区域の必要水量に拡張する。

其の後昭和二十五年七月浄水場拡張工事実施設計の決定に当り、主務官庁より八尾浄水場は関西本線以北、龍華浄水場は同以南を担当の区域とすることに注意を受け設計を変更、後者は送水唧筒1台の増設にとどめ、濾過施設の拡張もこれに必要な諸施設も共に八尾浄水場に於て拡張することとし、更に給水人口の目標を5万人、1日1人当り平均給水量を180立に増量すると共に既設低圧地区にも配水管の増設を行うこととしましたが、漸騰せる諸物質の騰貴を考慮して工事予算も6,250万円に（給水工事予算を含まず）増額せざるを得ざるに至りました。

配水管の布設工事は昭和二十五年五月第一工区、太子、木の本間より着手、関西本線を境に二つの配水系統とし、八尾、龍華両浄水地を200耗管を以つて接続、要所に制水弁を装置、150ヶ所に消火栓を設置、予定全市域に亘り350耗以下75耗鑄鉄管、延長26,450米を敷設、尙この外に久宝寺地区三津村に150耗以下鑄鉄管延長2,503米を布設する様資材及工事予算を保留いたしております。

配水管布設地域別延長は

木の本地区—太子—木の本—太田間及北木の本地域で250耗以下75耗鑄鉄管4,312米

太田地区—太田—沼間及大正住宅地域で200耗以下75耗鑄鉄管5,552米

八尾、山本間で250耗以下150耗鑄鉄管2,269米

西郡地区—萱振—西郡間及西の辻地域で200耗以下75耗鑄鉄管4,360米

久宝寺地区—八尾—顯証寺間及顯証寺、久宝寺、三津村地域で250耗以下75耗鑄鉄管6,903米

その他送水本管350耗100米

北山本、萱振住宅、安中住宅、八尾、安中間200耗以下5耗鑄鉄管3,055米

以上でありまして、これに要したる鑄鉄管は1,088屯であります。八尾市は八尾505番地に所在する八尾浄水場擴張工事、起工式は昭和二十五年十月執行、翌二十六月一月本市の直営工事として着工し主体工事の全部は十一月末に完了しましたが、その間濾過池送水唧筒施設の一部は二十六年七月末に試運転の運びに至り、昨夏の干天続きにもかかわらず時間給水を解消し得ましたことは土木工事施行者である本市土木課員の多大なる努力と濾過機納入者、機手産業並に送水唧筒納入者、荏原企業両株式会社の少なからざる協力によるものであります。

主体工事の終了と同時に囲壁、整地工事及既設部分の補修に着手し更に十二月残工事、洗澄池及気曝室擴張工事に着手、今日の竣工を見、これにより本市浄水場2ヶ所を合し、1日の送水量3,900立方メートルより9,000立方メートル以上となつたのであります。

八尾浄水場拡張工事

1. 敷地の擴張、擴張面積950平方メートル全面積3,780平方メートル
2. 浄水池1池新設、鉄筋コンクリート造り有蓋地下式、中間に隔壁を設けて水の停滞を防ぎ有効水深3メートル、貯水量1,200立方メートル、既設浄水池を合せて6時間の水量
3. 府営水道取入接合井1池新設、鉄筋コンクリート造り、300耗管を以つて府営原水を導入、流量測定器を取付け瞬間流量を加減
4. 急速濾過池2池新設、濾過槽は鉄筋コンクリート造り無蓋とし、急速濾過機は水道機工株式会社製でバタフライ式濾道速度調整機を取付け、操作台を設けて手動で各弁を操作、洗滌水は高架水槽より減圧弁を通じて使用し、洗滌用圧縮空気は20馬力プロペラ1台を装置濾床面積1池24平方メートル、平均濾過120米
5. 唧筒場及濾過池配管室上屋各1棟新設唧筒場上屋増設8平方メートル、木造平家タイル張り濾過池配管室上屋増築27平方メートル、木造平家タイル張り
6. 塩素滅菌室1棟新設鉄筋コンクリート造り平家12平方メートル地下に水槽を設けて新旧濾過池より流入せる浄水をここに集め水量を測定、2台のクロレター式塩素滅菌器により適量の塩素を注入
7. 洗澄池1池新設鉄筋コンクリート造り容量100立方メートル、既設導流溝と既設池澄池の間に設け壘井原水の沈澱の効果的処理
8. 気曝室の擴張鉄筋コンクリート造り擴張面積10平方メートル、曝気ノズルを増設して1日3,500立方メートルの原水を処理
9. 送水唧筒2台新設るのぐち式タービン唧筒口径200耗、高圧50馬力直結唧筒
10. 配電盤1台製造新設並に必要なる容量のものに改造
11. 排水弁1基新設鉄筋コンクリート造り内径1.5米深度四米とし口径100耗五馬力直結排水唧筒1台を装置
12. 構内配管工事送水管は400耗鑄鉄管を新設し異状圧力により管の損傷を防止するため安全弁を取付け、流量測定機及圧力計を装置

その他府営原水導水管は 300 耗管を敷設府営支管 400 耗管に接続、その他淨水管等構内配管で 23・7 の鑄鉄管を使用

龍華淨水場においては

送水唧筒 1 台新設のぐち式タービン唧筒 1 台、40 馬力直結揚程 43 米毎時送水量 150 立方メートル

府営原水導水管は 200 耗管を敷設し府営支管 300 耗管に接続

一方淨水池工事の一部完成と配水管の布設工事の進捗に伴い、昭和二十六年六月より給水工事に着手太田地区外全市域において、今日迄に敷設したる給水枝管 5・065 米、擴張給水戸数 1,850 戸であります。以上本工事に要しました総工事費は 7,340 万円でこの内訳は

配水管増設費	4,165 万円
淨水池擴張費	2,085 万円
その他給水工事費	1,140 万円

尙この外に府営水道分担金 1,947 万円であります。

これに対し政府資金として上水道災害復旧費で 500 万円、上水道擴張費で 5,700 万円、計 6,200 万円と府営水道分担金として 1,920 万円の起債許可を得本事業を急速に且つ有利に竣工せしめ得た主因をなすものであり、本工事竣工により本市上水道は清澄にして潤沢なる淀川源水を府営水道を通して導水することが出来全市域に亘り 1 日平均 9,000 立方メートル、時間最大 11,000 立方メートルの飲料水、しかも適当なる圧力で給水出来る様になりました。

上 水 道 工 事 概 要

工 種	起 工 年 月	竣 工 年 月	工 事 費
創 設 第 一 回 擴 張 工 事	昭 和 1 2 年 7 月 昭 和 2 5 年 5 月	昭 和 1 4 年 4 月 昭 和 2 7 年 1 月	733,000 円 65,000,000 円

基 本 計 画

年 度	計 画 給 水 人 口	一日最大給水量 一人当り平均	極度一日総給水量
	人 口		
昭 和 2 3 年	30,000 人	130 立	3,900 立方メートル
〃 2 6 年	50,000 人	180 立	9,000 立方メートル

配 水 鉄 管 延 長

(昭和26年12月)

種 別	鑄 鉄 管	鋼 管	エタニットパイプ	ビ ュ ー ム 管	計
350耗以上	863				863
300	636				636
250	2,175	742			2,917
200	5,526	3,384			8,910
150	8,523	3,666	1,000	312	13,501
125	3,077	3,662		1,368	8,107
100	12,252	4,105		230	16,587
75	8,463	7,994	650	1,229	18,341
計	41,575	23,553	1,650	3,139	69,917

水 道 使 用 量

(昭和26年)

明 細	件 数	料 金
水道使用量	71,771	11,262,319円
工事費	1,092	6,212,664
手数料	1,460	75,012
計	74,323	17,549,995

給 水 普 及 状 況

(昭和26年12月)

明 細	区域内の戸口		実 際 給 水 戸 口		普 及 割 合	栓 種 別 に よ る 給 水 戸 数		計
	戸 数	人 口	戸 数	人 口		専 用 栓	共 用 栓	
26 年 末	16,146	71,490	8,305	37,372	0.52	7,564	741	8,305

用 途 別 普 及 状 況

(昭和26年12月)

明 細	家 事 専 用	官 公 用	營 業 用	湯 屋 營 業 用	工 場 用	家 事 共 用	総 栓 数
26 年 末	7,233	75	153	21	82	247	7,811

給 水 量

明 細	総 給 水 量	一日最大給水量	一日平均給水量	一人一日給水量	
				最 大	平 均
26 年 末	1,921,000立方米	7,500立方米	5,300立方米	180立	130立

電 力 受 給

明 細	総 消 費 量	総 支 出 金 額	送 水 総 量	一立方米当り電力消費量
昭和26年電力使用量	638,097KWH	1,724,523円	1,921,000立方米	0,897KWH

水 質 検 査 成 績 表

(昭和26年12月9日現在)

検 水 種 別	採 水 個 所	遊 離 塩 素 (P. P. M)	一 般 細 菌 総 数 (1 C C 中)	大 腸 菌 試 験		判 定
				推 定		
				1	10	
原 水	八尾水源池		120	(+)	(+)	不 適
〃	龍華水源池		85	(-)	(-)	適
淨 水	八尾水源池	0.5	3	(-)	(-)	〃
〃	龍華水源池	0.3	17	(-)	(-)	〃
〃	八尾市役所	0.4	24	(-)	(-)	〃
〃	東 郷	0.25	12	(-)	(-)	〃
〃	西 郷	0.3	52	(-)	(-)	〃
〃	萱 振	0.5	12	(-)	(-)	〃

水質試験成績表(原水)

(昭和26年10月31日)

八尾水源池				龍華水源池			
1. 濁度	無色透明	20.0		8. 塩酸イオン	9.6 P. P. M	14.0	
2. 色度	認めず	60.0		9. 硫酸イオン	検出せず	痕跡	
3. 臭味	異状を認めず	異状あり		10. 過マンガン酸カリ消費量	6.64 P. P. M	5.69	
4. 水素イオン濃度(P.H)	微弱アルカリ性	7.0		11. 蒸発残留物		172.0	
5. アムモニア性窒素	0.02 P. P. M	中性		12. 総硬度		35.4	
6. 亜硝酸性窒素	検出せず	検出せず		13. 鉄	0.2 P. P. M	5.5	
7. 硝酸性窒素	検出せず	痕跡					

第十二編 對市民活動